



新しい年を迎えて

校長 吉井 宣明

新年あけましておめでとうございます。2週間以上のお休みに、ご家族で心温まる時間を過ごせたのではないかと存じます。また行動制限のない長期休みでしたので、祖父母を訪ねたり各地に出かけたりされたこともあったかもしれません。

さて、2023年（令和5年）は、兎年。うさぎと言えば、私事ではありますが、以前うさぎを飼っていたことがあります。普段はケージに入れているので大人しくじっとしていることの多い動物ですが、外に出すと、ものすごいスピードで走ることがあります。野うさぎは時速70kmで走るとか。家で飼われている種類はそこまで速く走れないのかもしれませんが、それでもとても人間がかなう相手ではありません。うさぎはジャンプ力も素晴らしいです。これも種類によって様々でしょうが、垂直方向の高さで60cmから120cmほどのことです。特徴の一つである長い耳は、人間よりはるか遠くの音を聞き取ることができます。自然界では捕食される側として、身を守るためそれらの能力を発達させてきたのでしょう。今年はそんなうさぎを見習ってよく人の話に耳を傾け、大きく飛躍し、駆け抜けていく年にしていきたいです。

日吉台小学校では、「みずから生きる とともに生きる 日吉台の子」の学校教育目標のもと、今年も引き続き一人ひとりを大切に、「誰もが、安心して、豊かに」過ごせる学校づくりを進めていきます。GIGAスクール構想で貸し出された一人一台のタブレット端末が、授業などで多く活用されるようになってきました。さらにタブレット端末を文房具の一つとして、ごく当たり前に活用いけるようにしていきます。現在本校では2年生以上への貸し出しとなっており、1年生には、2年生になってからになります。高学年では、複数の教員が教科分担して授業を行う教科分担制を導入しています。教師の専門性を生かし高めるとともに、複数の教員で学年を見ることによるきめ細やかな児童指導や、チームによる効果的な学年経営を行ってまいります。不登校の傾向や、様々な理由により教室で過ごすのに不都合を感じている児童が、本校でも見られません。現在は、各家庭と連携し登校の仕方を工夫したり、近隣校での取組を担当者で見学に行ったりなどして、研究と実践を繰り返しております。これからも多様なニーズに対応し、個別最適な支援を進めてまいります。

また今年の日吉台小学校にとって150周年という節目の年を迎えます。150周年記念事業では、児童・家庭・日吉の町と学校とで協力し、今までの日吉台小の歴史を振り返り、新しく歴史となれるような企画を考えていきます。まずは長く親しまれることを目指した「ゆるキャラ」が、投票により選ばれました。150周年関連以外にも積極的に使用し、早く皆様に浸透していきたいです。その他、かつて使われていたビオトープと井戸の復活を目指し、現在整備を進めているところです。

保護者の皆様、地域の皆様、今年もよろしくお願いいたします。



日吉台小ゆるキャラ
ぶんかちゃん